## ENGLISH DISCOVER Times

第3号では、教材の執筆・改訂に携わってくださっております、山脇学園中学校・高等学校の高瀬先生、岩永先生にインタビューをし、2022年1月に実施された大学入学共通テストの分析を踏まえ、普段の授業や評価方法との関連性について語っていただきました!



**DISC®VER** 



今回の大学入学共通テストは「必要情報を素早く処理し、問題を複合的に把握する力」が求められていたように感じますが、改めていかがでしたか?



問題によって緩急をつけなければいけないものが多かったように感じます。複合的な問題か、瞬時に解ける問題かを見極めるために斜め読みできるかどうかが大切だったように見受けられました。

このような力は、普段から訓練していないと身につきません。本校では中学1年生から「ENGLISH DISCOVER」を授業で採用しておりますが、大学入学共通テストの意図と共通する問いが多く、この教材を使用していけば大学入学共通テスト専用の対策をする必要はないのでは?と感じるほどです。

問 5 One <u>fact</u> stated by a previous student is that 10 .			
分類・関係・具体			
● headphones or earry  ② the library is open  ③ the library orientati  ④ the Study Area is o  ② the Study Area is o  DiscoverII 第10章  re Museum: ルーフル夫義翁 Leonardo da Vinci: レオナルド・ダ・ヴィンナ			
( ) Opinion [ ]			
問 1 Put the following events (①~④) into the order they happened.  18 → 19 → 20 → 21			
saying the same thing many times! Don't worry. "Trust me.  Thank you for telling me about the library books. I didn't know			
DiscoverII 第6章 that. Really? Oh, you forgot to say "Happy birthday" on my last birthday,			
問 2 You have been asked to write descriptions of Type 2 and Type 3 plastics.  Choose the best options for 45 and 46 .  L較・関連  Type 2 45 中学生のヒロシが高校受験で学校を選んでいます。表1は、ヒロシの確保をいくつか示しています。			
表2は、A、B、C各学校の在校生からのメッセージを示しています。表1と表2を見て、在校生か (1) and commonly known らのメッセージの内容がヒロシの希望を最も多く満たしていると考えられる学校を $A \sim C$ の中から			
② and used at a wide ra 表 1			
③ but harmful to humar ・ 英語が好きで、話せるようになりたい。 ・ 外国に行きたい。 ・ バスケットボールの練習にも力を入れたい。			

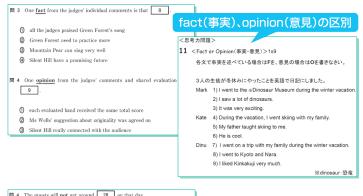
在校生からのメッセージ njoy English classes every day. Japanese culture is important for us re going to visit Kyoto and Nara next year.

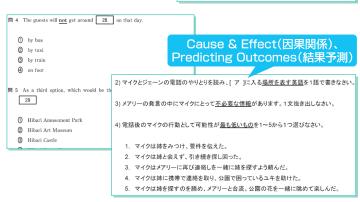
ol has many rules. For example, we can't bring our mobile phon-

but unsuitable for dri ・携帯電話の持ち込みが許可されている学校がいい

DiscoverI 第21章

また、本校では普段から思考力を意識した授業を取り入れ、授業案は 先生同士でコミュニケーションを取りながら共有しております。「事実」 と「意見」を見分ける練習や、因果関係・結果予測といった力も意 識し、その集大成としての定期考査はこのような問題を出題しました。





出典:大学入試センター

そして、本校では評価方法として、ICEモデル (Ideas (知識)・Connections (つながり)・Extensions (応用))を取り入れております。「ENGLISH DISCOVER」はブルームのタキソノミーを用いた多くの思考パターンが含まれているため、ICEモデルを活用した授業で思考力を鍛える訓練をし、定期考査でその力を測り、観点別に評価するといった流れは、大学入学共通テストを踏まえても、今後も続けていきたいと考えております。



普段から思考コードを意識する問題を解いていって、コンテンツのレベルを上げていけば自然と共通テストに向けての対策になると考えておりますが、今回の大学入学共通テストは、「目的や場面を意識した問題」

が多かったように感じます。例えば、「プレゼンをするために〜」「イベントをするために〜」といった問題です。問題の場面が実体験の中に組み込まれていることで、より自分事として捉え解決するための力が求められていることを感じました。「複数の情報から要点を把握する力」が求められた分、読解量は若干増加したように感じます。



ただ、「思考力を鍛える」ことについて、中学1年 生の段階では難しさを感じている先生もいらっしゃ ると感じます。御校では実際にどのようなことを意 識していますか?



観点別学習が主眼になってきて、「知識」から「思 考」へと評価基準が移行しています。つまり、「知 識」と「思考」を分けて考えていく必要があると言 えます。

「思考力問題って何だろう?」と考えたときに、ただ難易度を上げれ ば良いというわけではありません。ENGLISH DISCOVERや大学 入学共通テストにあるエッセンスを吸い上げていくことが重要と考え ていますし、私たちも意識をしている部分です。

しかしそれは、高校生になってから急いで行うのではなく、逆算して 中学1年生の段階から「思考力」という軸を作って「自分の頭の中 を整理し、論理的に伝える」訓練を意図的に組み込むことが大切 だと考えています。



そのような教育方針は、中学2年、3年…と学年 が上がるにつれてどのように変化していくのでしょ うか?



中学3年間の方針は変わりません。ENGLISH DISCOVERのステップを上げていくだけです。た だ、ライティングは強化していきたいですね。



[英語で話せるようになること] と同時に、英語を 介して多文化の世の中で「課題解決していく力」 が必要だと考えています。

そのような力を育てていくために、中学1年生では 日本語で質問したり、説明させたりしていますが、学年を追うごとに 日本語よりも英語で表現させる機会を増やしていきたいですね。

## ■インタビューを終えて…

大学入試は生徒の人生において通過点にすぎま せん。両先生は、大学入試で合格するための授 業ではなく、さらにその先を見据え、多文化が入り



混じる国際社会において活躍できる人を育てるために何ができるか を考えていらっしゃることが非常に伝わってきました。その考えを実 現させる手段の一つとしてのENGLISH DISCOVERであり、評 価する手段の一つとしての定期考査や大学入学共通テストである のだと思います。

今回の改訂では、思考力問題・読解問題ともに、「思考力を問う 問いとは何か」について改めて考え、制作を進めております。ぜ ひ、改訂版の完成を楽しみにお待ちください!



## 見本お申し込みフォーム

こちらの用紙にご記入の上、FAXをお送りいただくか、お電話にてお問い合わせ下さい。

TEL. 03-3304-5562 FAX. 03-3304-5316

☑ ご審査・ご検討用見本(無料) ご希望の教材に☑を入れて下さい。

<b>1</b>	ШШ	Ш Ш	※Ⅰ・Ⅱの改訂版は10月以降のお渡しです。Ⅲは2023年10月の予定です。
貴校名			お電話番号
送付先住所	₹		
ご担当者名			役職名
Emailアドレ	ス		

学校事業—課/〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-39-19 ☑ 教育開発出版株式会社 TEL. 03(3304)5562 FAX. 03(3304)5316 https://www.kyo-kai.co.jp/special/chuukou-eigo/





